

## 創造表現コース(3年生 国語研究)

### 現役の中日新聞記者から学ぶ

中日新聞記者、小松原康平先生をお迎えした、国語研究(3年生)の授業です。前回の授業では、記事を作るための取材活動を行いました。今回までに、その内容を記事におこす、という課題が与えられていました。

それらの記事については、小松原先生が回収なさり、ご添削いただけるといふ運びになりました。中日新聞社でデスク経験のある小松原先生の添削とは、なんと贅沢なことでしょうか。

今回は小松原先生の授業で核となるテーマが示されました。そのテーマとは、「メディアリテラシー」です。善悪の2元論では語る事ができなくなったこの情報化社会のなかで、正確な情報を、どれだけ効率的に得られるか、これが生き抜くポイントである、と小松原先生はおっしゃいました。それを記者らしく、新聞記事のコピーを用いて生徒に伝えていただきました。

通常、学校教育においてメディアリテラシーは情報科や商業科の教員が担当する範囲です。それを国語研究という、言語を専門とした授業の

枠組みのなかで、しかも現役の記者に語っていただくことは、まさに、普通科の枠を超えた取り組みであると言えます。メディアの中で生きてきた方が、メディア、そしてメディアリテラシーについて何を語るのか。我々には想像もできない、「記者の経験」という目線から語られる講義は、必ずや生徒の刺激になることでしょう。

